

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		筑波高原キャンプ場管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040302000562
						単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興						課長名	商工観光課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	商工観光グループ
	施策名	03 観光の振興						担当者名	
	手段名	02 ②観光資源の充実と商品開発							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	04	01	00	観光事業		
法令根拠						桜川市筑波高原キャンプ場の設置及び管理に関する条例			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
筑波山中腹にある筑波高原キャンプ場を管理運営する業務。 営業期間＝5月1日～9月30日までの5ヶ月間 (平成30年度より7・8月以外は金・土・日のみ営業) 105日。 4月1日から受付 (メール・電話・FAX)。期間中は管理人をシルバー人材センターに委託。管理人には利用者の受付業務、料金徴収ほか軽作業行ってもらっている。	管理委託契約業務。管理計画の立案。旅館業許可申請。利用者へ関係書類送付。予約受付。予約者名簿の調整。 利用者・利用料金集計表の作成並びに実績表の作成。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
施設管理業務委託及び施設の修繕工事の発注		除草作業発注数		件	4.00	2.00	3.00	3.00	3.00
		施設修繕工事発注数		件	4.00	6.00	5.00	5.00	5.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
筑波高原キャンプ場		敷地面積		m ²	24,307.00	24,307.00	24,307.00	24,307.00	24,307.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	04年度 (目標)	05年度 (目標)
キャンプ場を整備し、安全でより快適な環境を利用者へ提供する		利用者からの事故報告件数		件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	2,358	2,009	8,167	0
	事業費計 (A)	千円	2,358	2,009	8,167	0		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

02年度事業費 実績 (千円)				03年度事業費 予算 (千円)				
10 需用費	720			10 需用費	846			
11 役務費	130			11 役務費	181			
12 委託料	330			12 委託料	6,122			
13 使用料及び賃借料	805			13 使用料及び賃借料	816			
15 原材料費	24			15 原材料費	90			
				17 備品購入費	112			
合 計				2,009	合 計			8,167

事務事業名	筑波高原キャンプ場管理運営事業	事務事業No.	40302000562	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和41年5月から事業開始 キャンプ場の形態が様変わりし、オートキャンプが主流となっているため、利用者が年々減少してきたが、最近のキャンプブームで利用者は増加している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 筑波山登山の基地として宿泊ができ自然に親しめる施設である。 市の観光資源である貴重な植物や豊かな自然が体験できる貴重な観光施設であり、市の政策体系と結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 誰でも使用することが可能な観光施設の管理事業のため妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設が老朽化しており、使用ができなくなった施設から順番に使用を休止していくが、テントサイトのみ運営は継続を検討しており、利用者の意向など考えながら成果向上を図っていく。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 全体的に廃止した場合には、国有林の返却に伴う原状回復などの費用が発生するが、現在のテントサイトのみ営業では国有林の借地料すら賄えない状況。赤字続きで経営するより、今後は全面閉鎖も検討するべき。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 具体的な手段、事務事業名 上野沼やすらぎの里キャンプ場管理運営事業 岩瀬地区に上野沼やすらぎの里キャンプ場があり、市で2つのキャンプ場を営業している状況。比較的新しく利用者の多い上野沼キャンプ場1本に絞った方がコスト削減・サービスの向上につながる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設管理はシルバー人材センターに委託しており、必要最低限の管理のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民、市民以外でも利用可能な施設であり、利用者には市条例で定めた料金を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	老朽化により危険な施設は修理せずに利用を休止しているが、テントの利用率が高く施設を休止による苦情も特にない。 老朽化した施設は早期に取り壊す必要がある。 トイレがすべて和式なので、洋式化の検討が必要である。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			X	低下		X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			X																				
	低下		X	X																				
老朽化した施設を解体し、キャンプサイトを整備してキャンプ場のリニューアルを行う。 トイレの洋式化を進める。		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>